



2025年4月29日

### 日本学術会議法案に関する声明

2025年3月7日に閣議決定された日本学術会議法案に対して、日本学術会議は、2025年4月15—16日に開催された日本学術会議第194回総会において、同法案に対する強い懸念から、決議「日本学術会議法案の修正について」、および声明「次世代につなぐ日本学術会議の継続と発展に向けて～政府による日本学術会議法案の国会提出にあたって」を可決しました。日本学術会議法案は、日本学術会議がナショナルアカデミーとして満たすべき5要件、すなわち、①学術的に国を代表する機関としての地位、②そのための公的資格の付与、③国家財政支出による安定した財政基盤、④活動面での政府からの独立、⑤会員選考における自主性・独立性、を満たしておらず、もし法案が通過すれば、政府から独立して会員選考を行い、また政府に対して勧告等を行うなど、日本学術会議の重要な役割を阻害することが懸念されています。したがって、日本移民学会理事会は、こうした日本学術会議の懸念を共有し、その議決と声明を支持するとともに、上記5要件のすべてが満たされるように、日本学術会議法案の修正を強く求めます。

日本移民学会理事会一同

理事会名簿 [https://imingakkai.jp/assets/member2024\\_rijikai.pdf](https://imingakkai.jp/assets/member2024_rijikai.pdf)

日本移民学会 <https://imingakkai.jp>